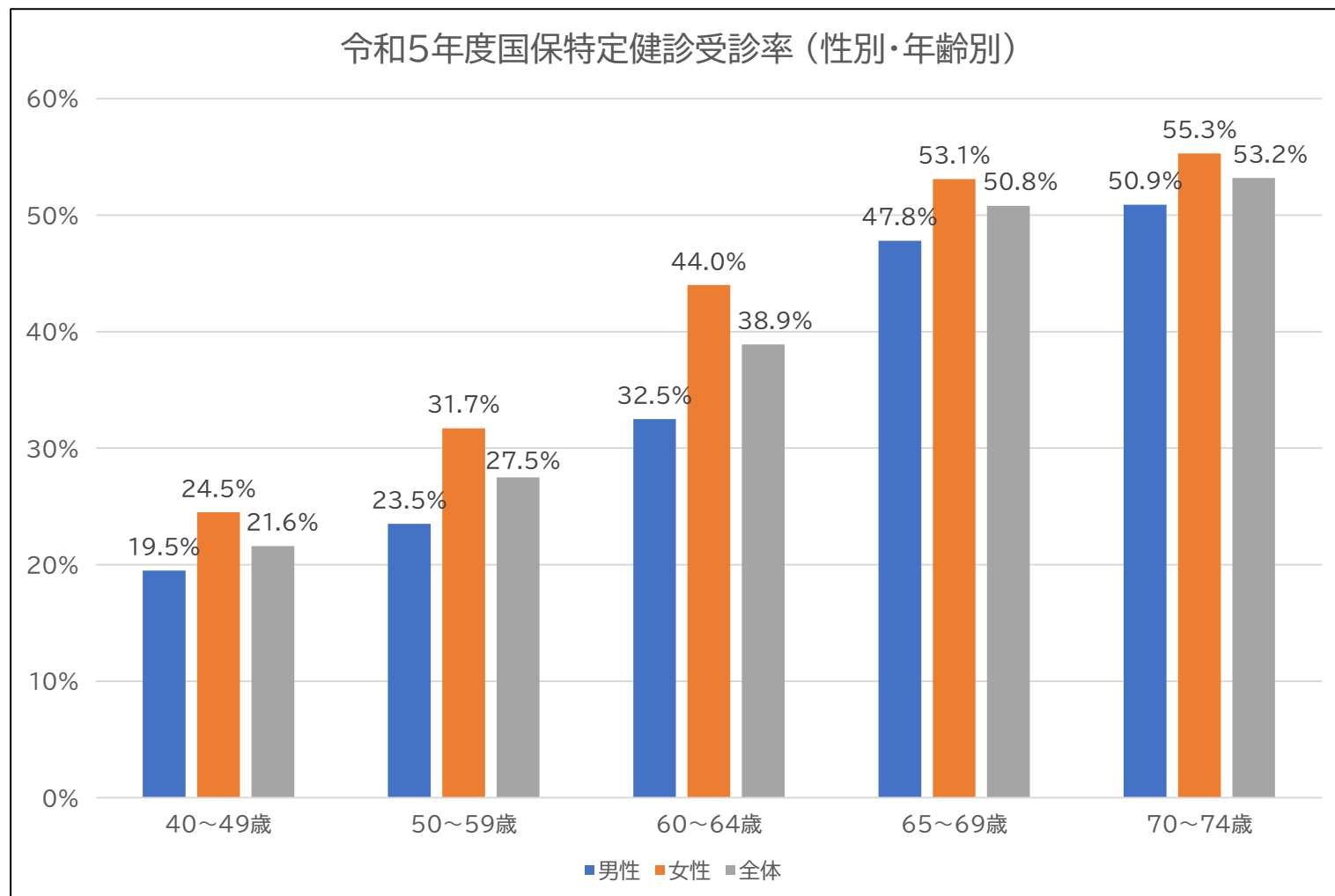


2. 特定健診 編

令和5年度国保特定健診 受診率 44.3%（前年度受診率 44.0%）



- ・受診率の目標値である60%には達していない。
- ・男女ともに年齢が上がるにつれて、受診率が高くなっている。
- ・男性と女性では、男性の方が受診率が低い。

※特定健診結果総括表（令和5年度）

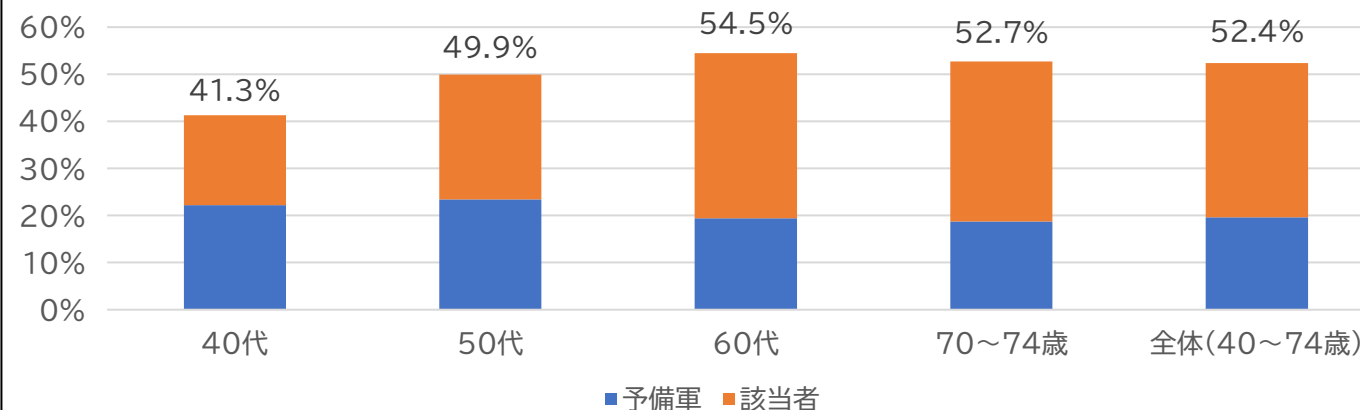
国保特定健診 メタボ予備群・該当者

令和7年度版

男性

	予備群	該当者
40代	22.2%	19.1%
50代	23.4%	26.5%
60代	19.4%	35.1%
70～74歳	18.7%	34.0%
全体(40～74歳)	19.6%	32.8%

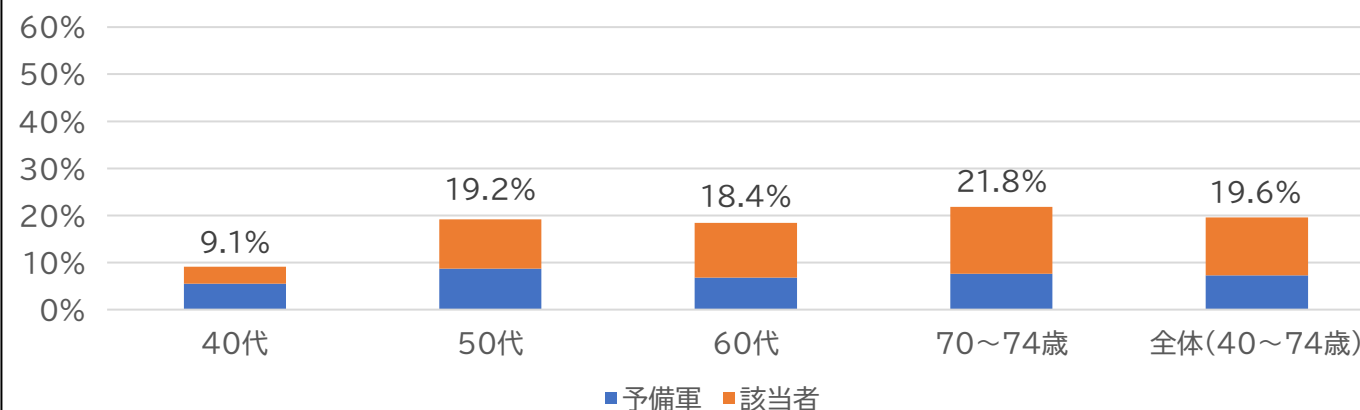
メタボ予備軍・該当者の割合（男性）



女性

	予備群	該当者
40代	5.5%	3.6%
50代	8.7%	10.5%
60代	6.8%	11.6%
70～74歳	7.6%	14.2%
全体(40～74歳)	7.3%	12.3%

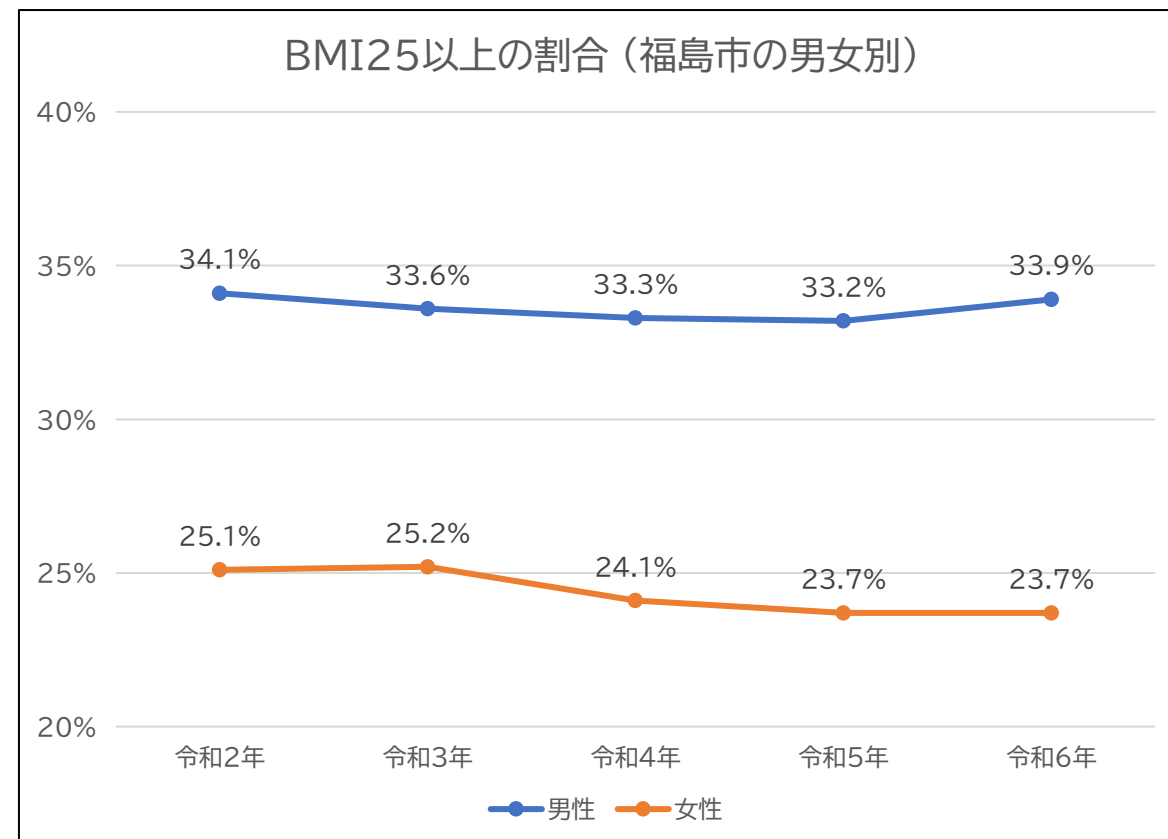
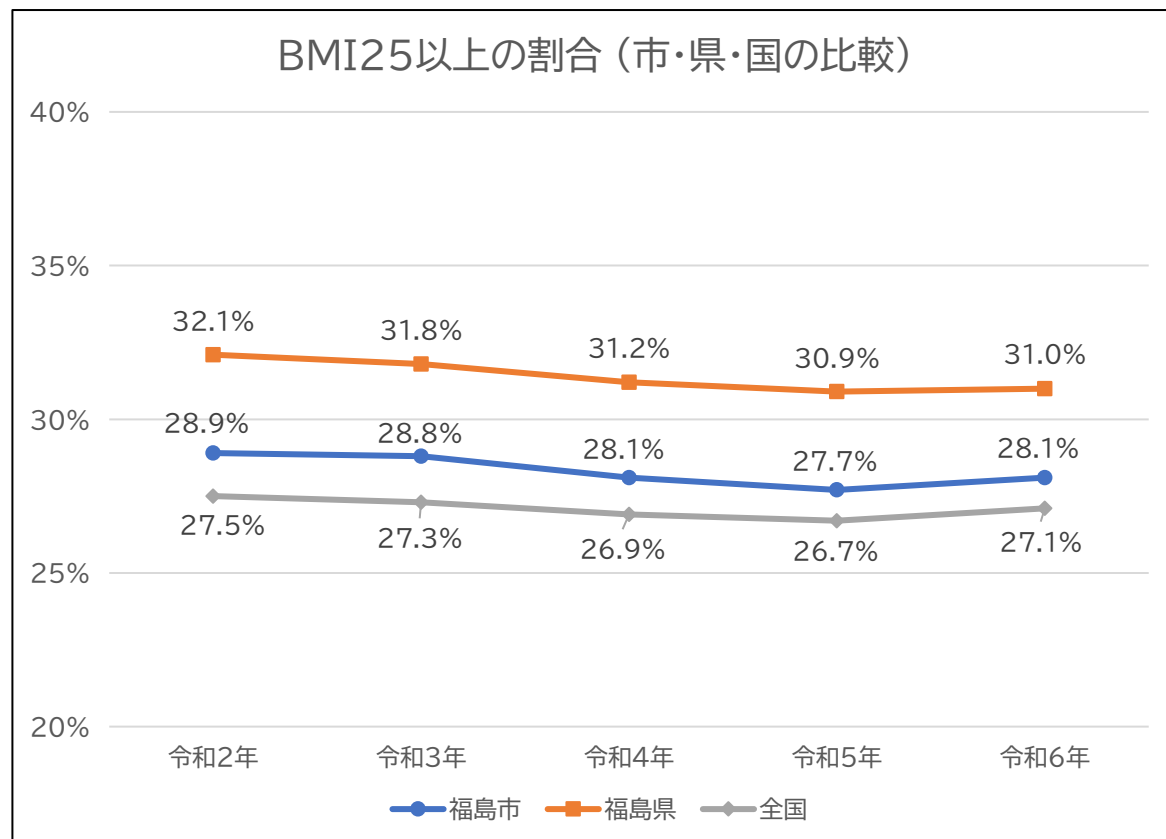
メタボ予備軍・該当者の割合（女性）



資料 KDB(令和6年度)

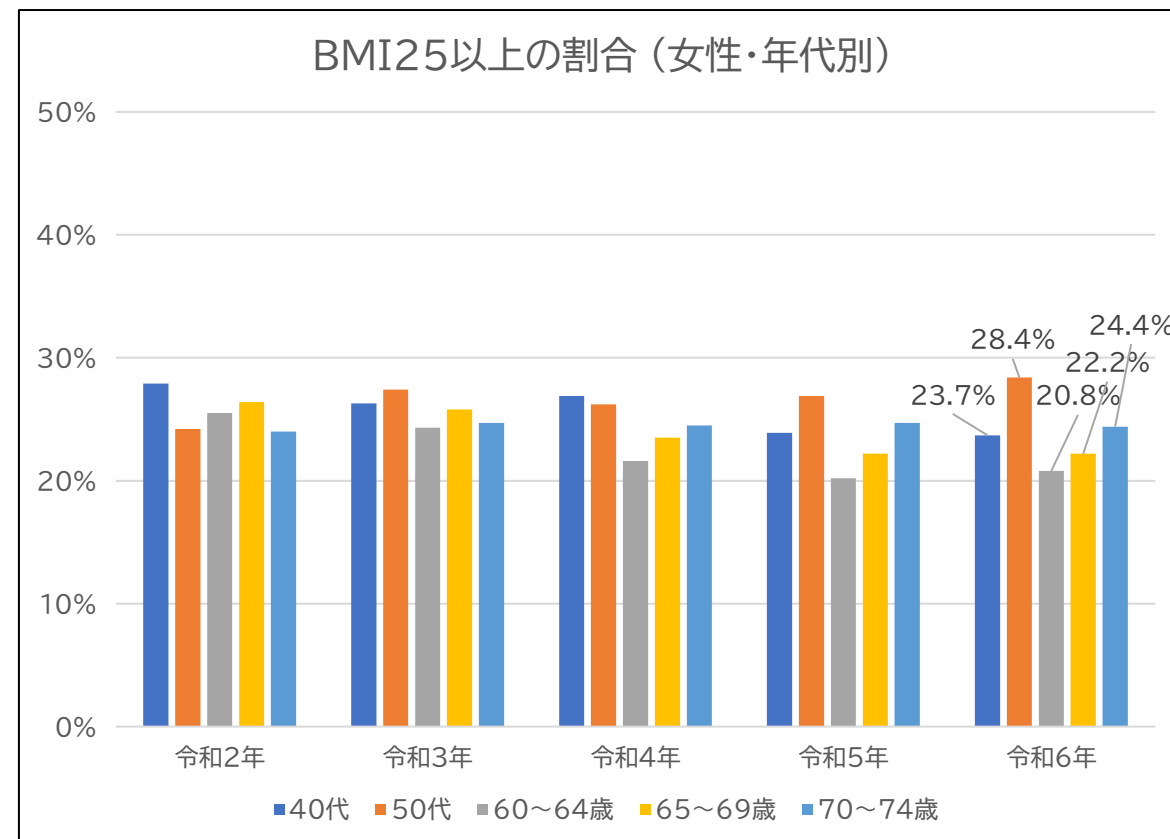
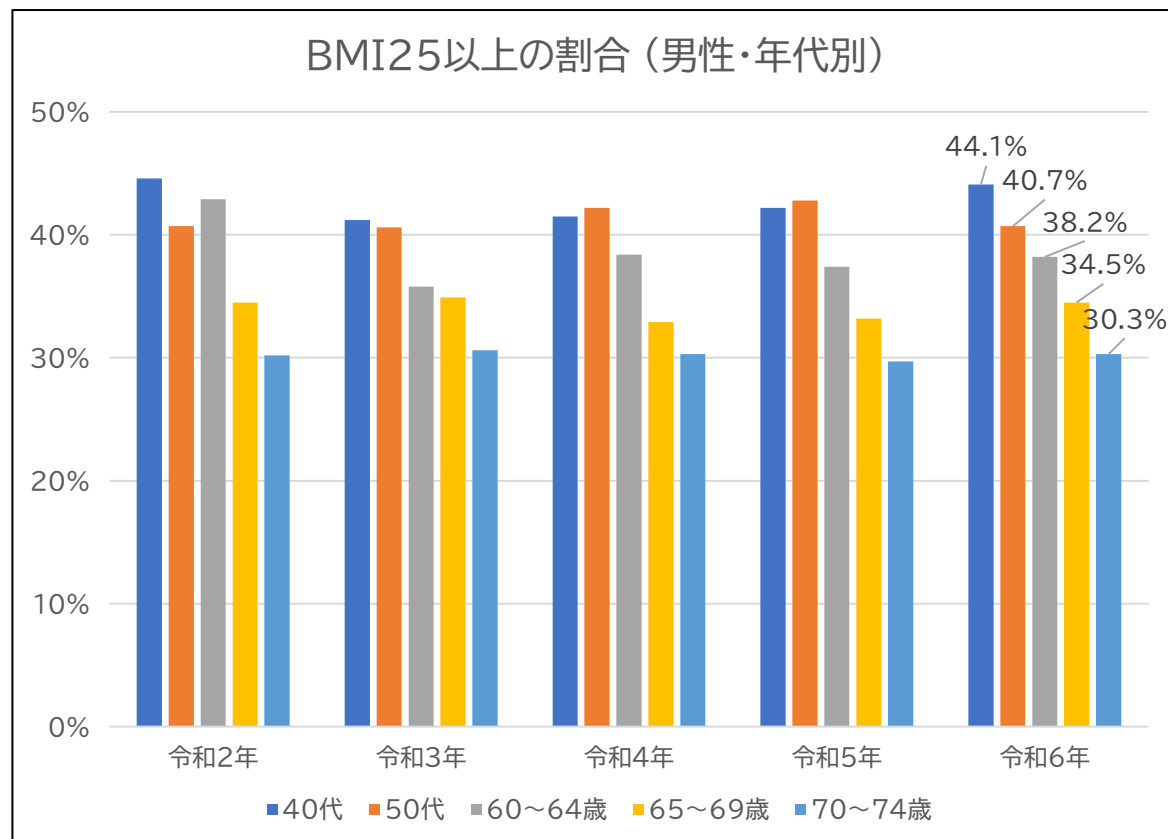
- ・すべての年代において予備群及び該当者ともに男性が女性を上回っている。
- ・男女ともに40代から50代にかけて該当者の割合が大きく増加している。

BMI25以上



- ・福島市のBMI25以上の人の割合は、全国より高く、福島県より低い傾向にある。
- ・福島市の男女別では、女性より男性の方が継続して9～10ポイントほど高くなっている。

BMI25以上

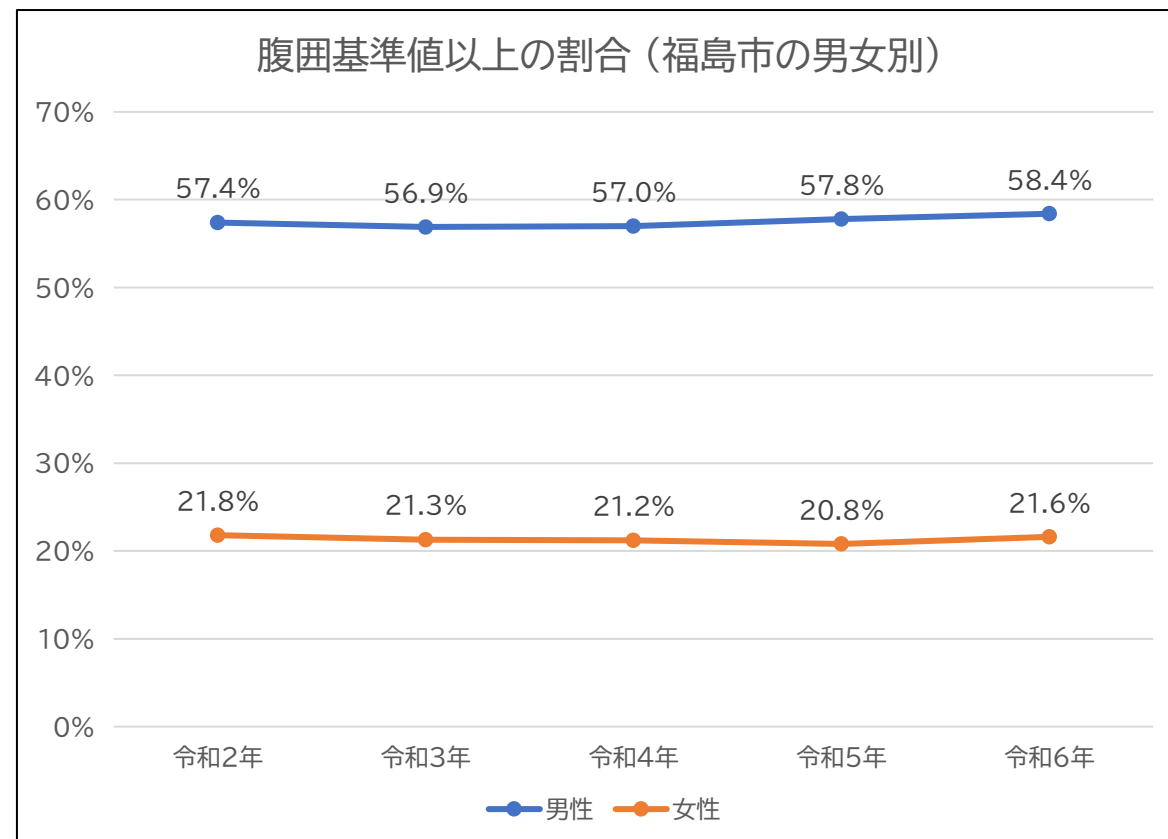
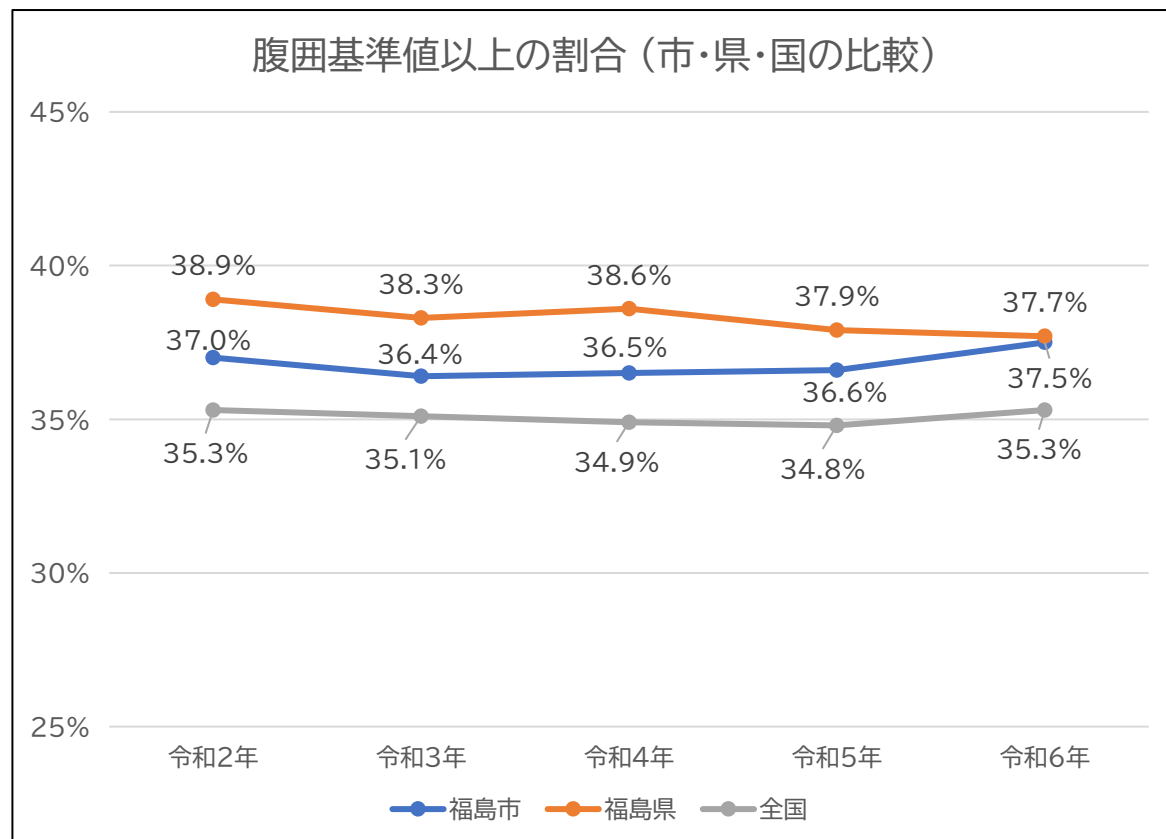


- ・男性のBMI有所見率は、年代が上がるにつれ減少する傾向があるが、女性は各年代の差が少ない傾向がある。
- ・令和6年のBMI有所見率は、男性は40代が最も高く、女性は50代が最も高い。

国保特定健診 有所見率 腹囲

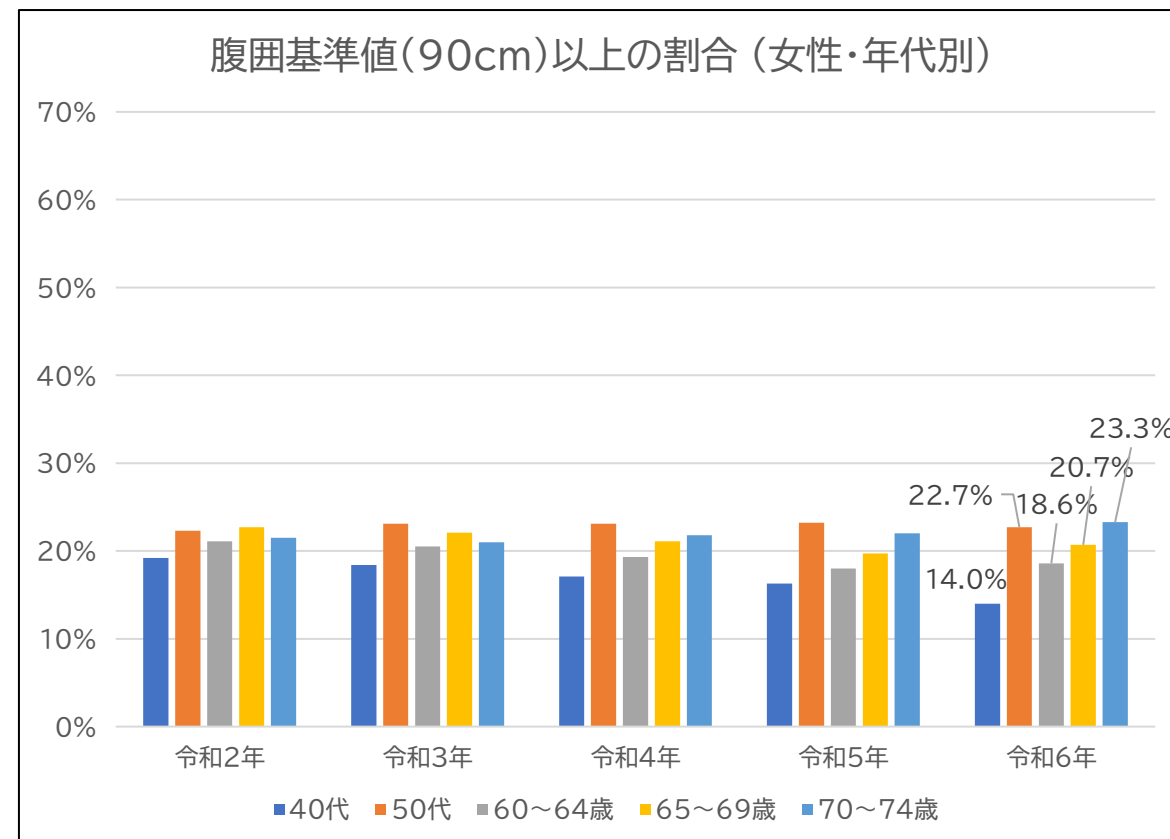
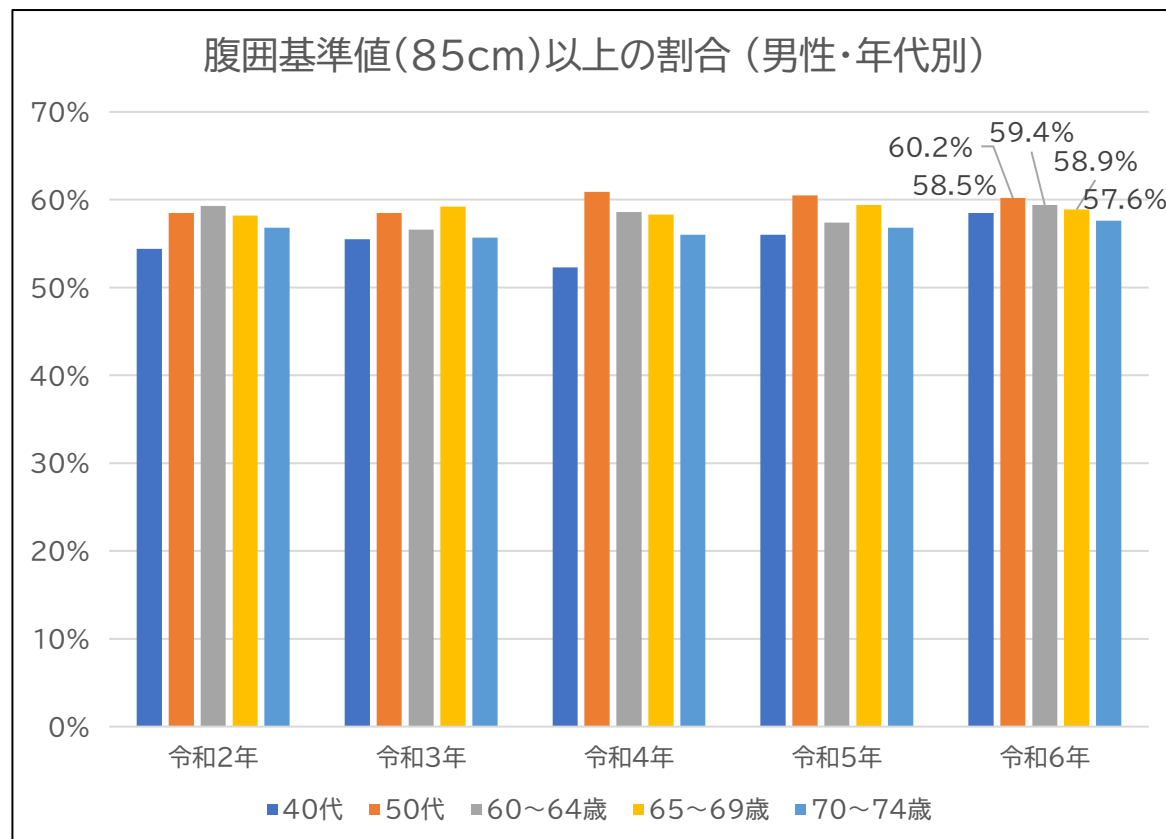
令和7年度版

腹囲基準値(男性85cm、女性90cm)以上



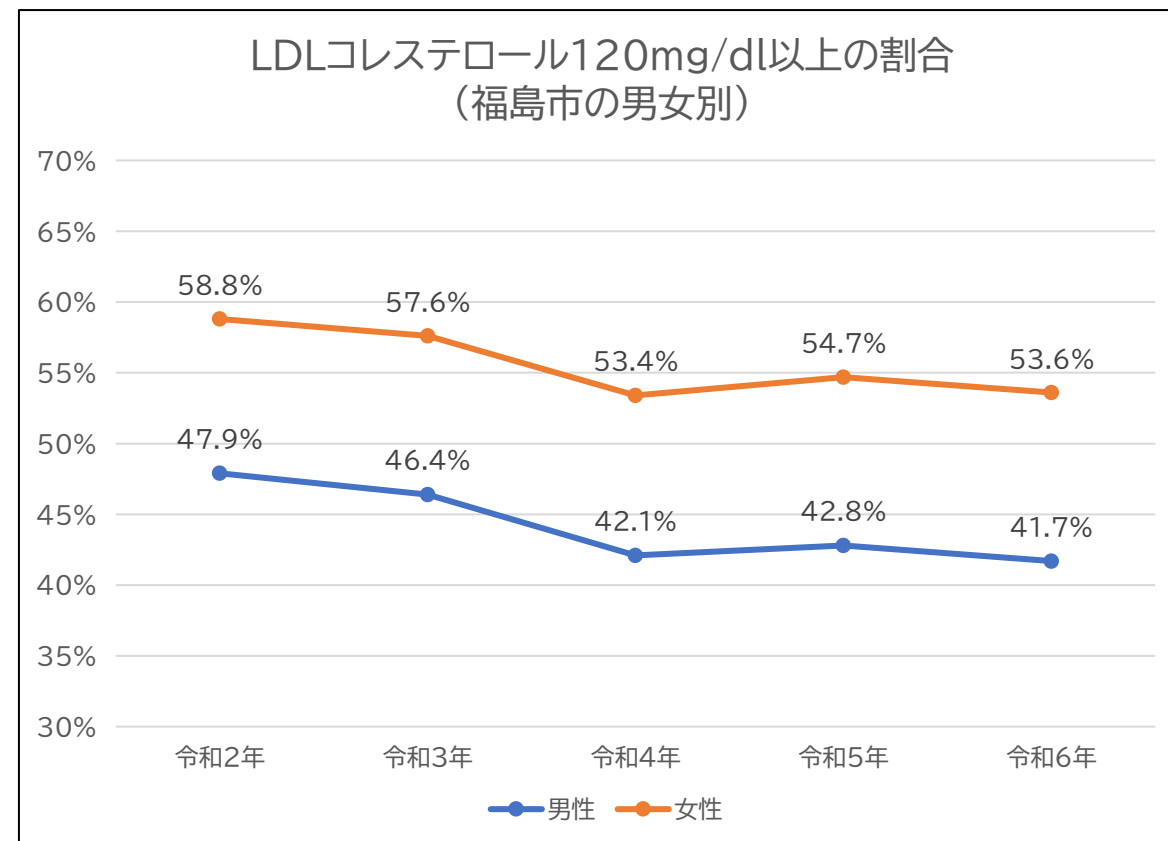
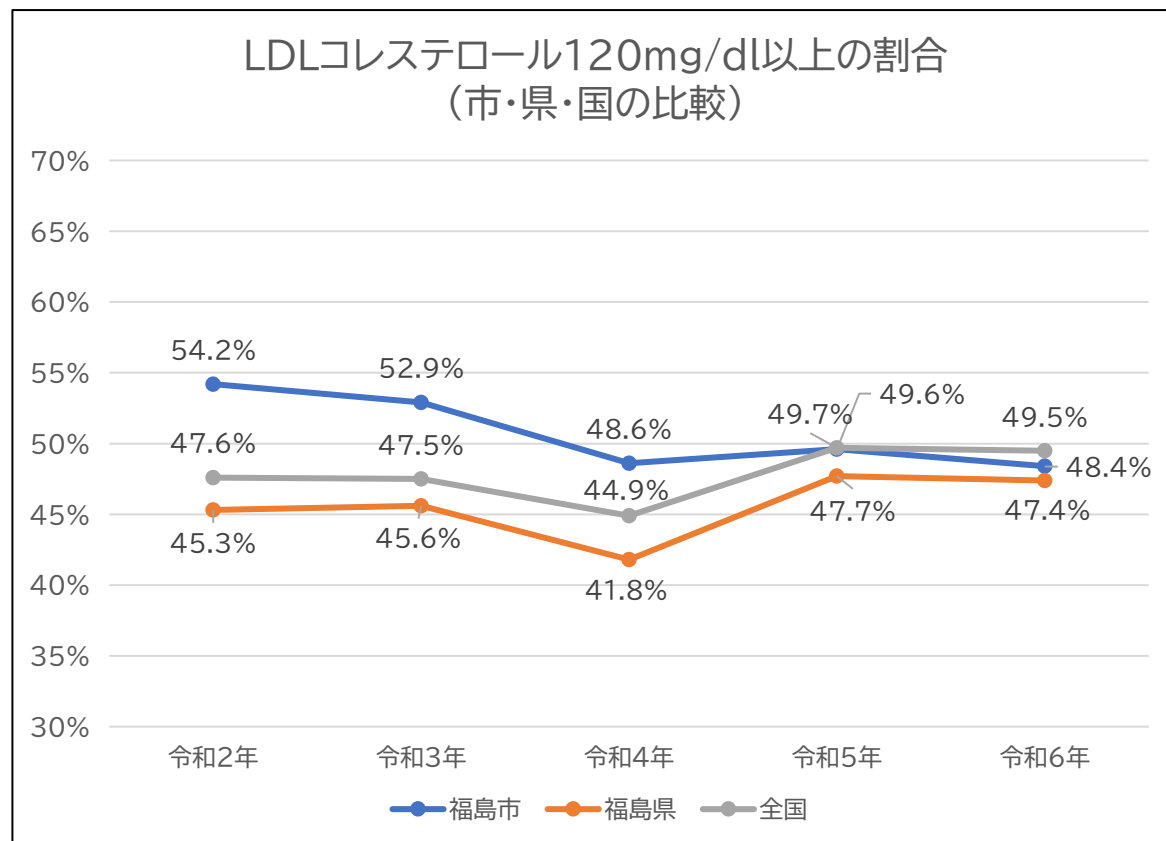
- ・令和5年以前は福島県より低い割合であったが、令和6年は福島市の有所見率が増加し、県とほぼ同じ割合となった。
- ・福島市では継続して基準値以上の人の割合が女性よりも35%ほど男性の方が高い。(男女差が顕著)

腹囲基準値(男性85cm、女性90cm)以上



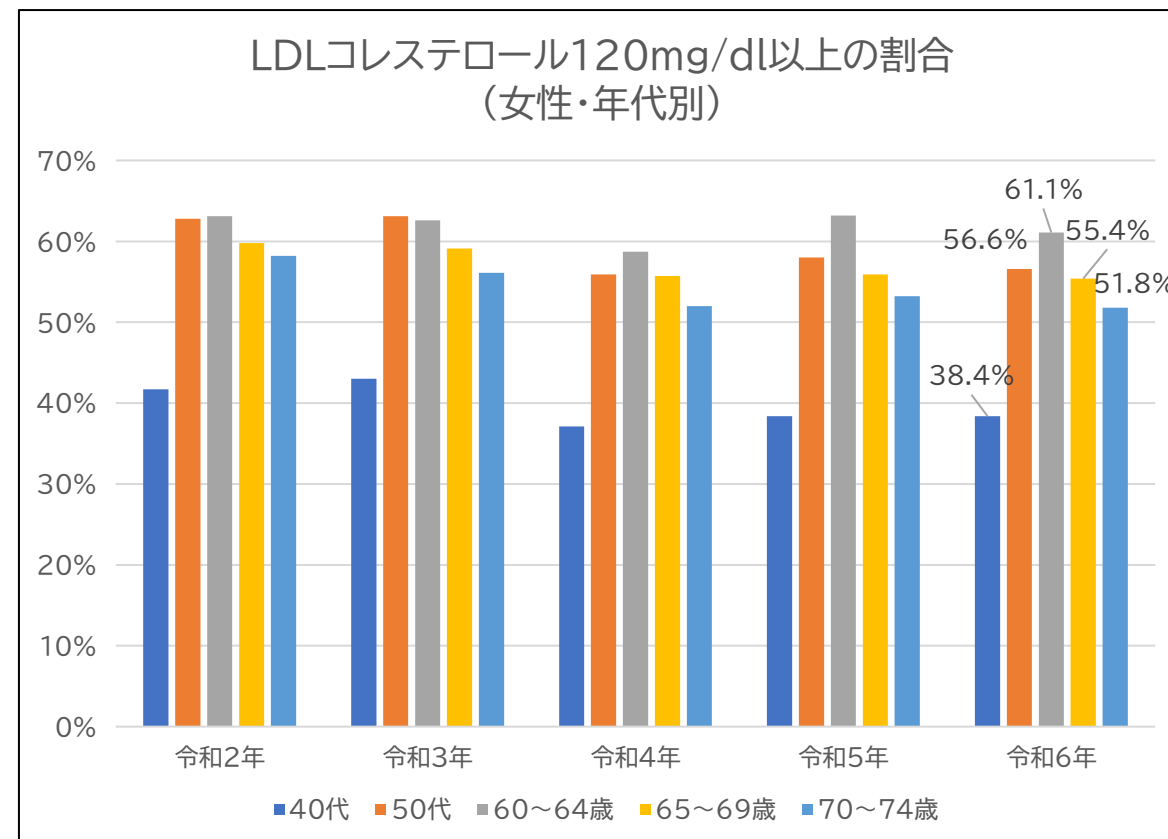
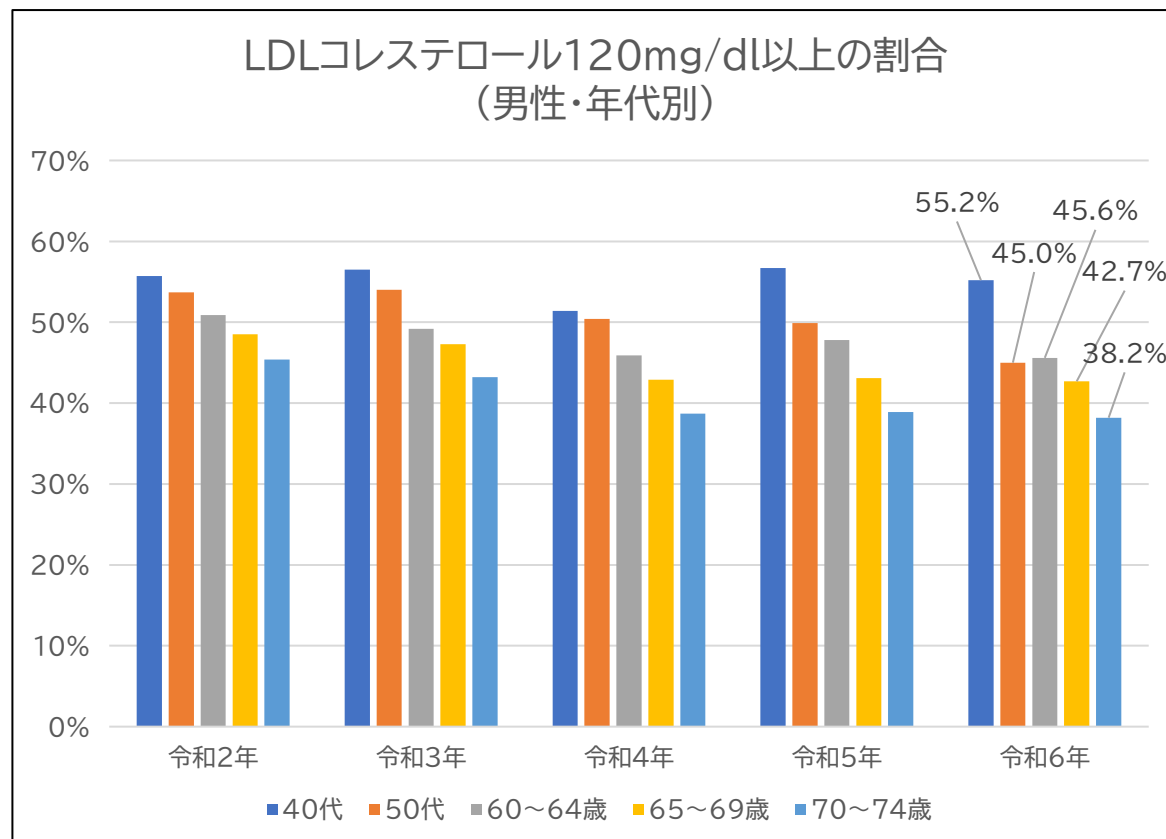
- ・男性は年代間の割合にあまり差がないが、女性は年代間の差が大きい。
- ・女性は年代が上がるごとに割合が高くなる傾向があるが、50代の割合が特出して高くなっている。
- ・40代から50代にかけて、割合が大きく上昇している様子がわかる。

LDLコレステロール 120mg/dl以上



- ・令和2年時点では、福島市の有所見率は県・国と比べて高かったが、徐々に低下がみられ、令和6年時点では県・国とほぼ同じ割合となった。
- ・男女別では男性より女性の方が高く、11～12ポイントほどの男女差がある。

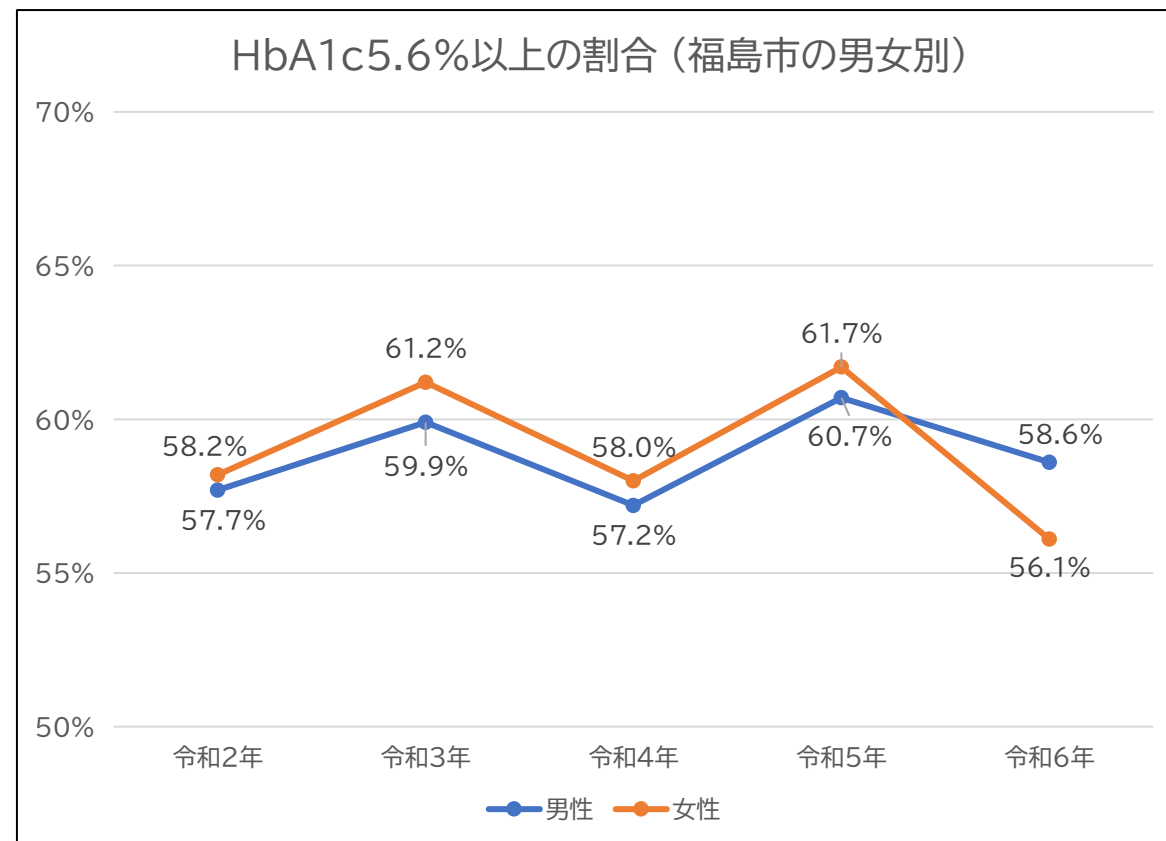
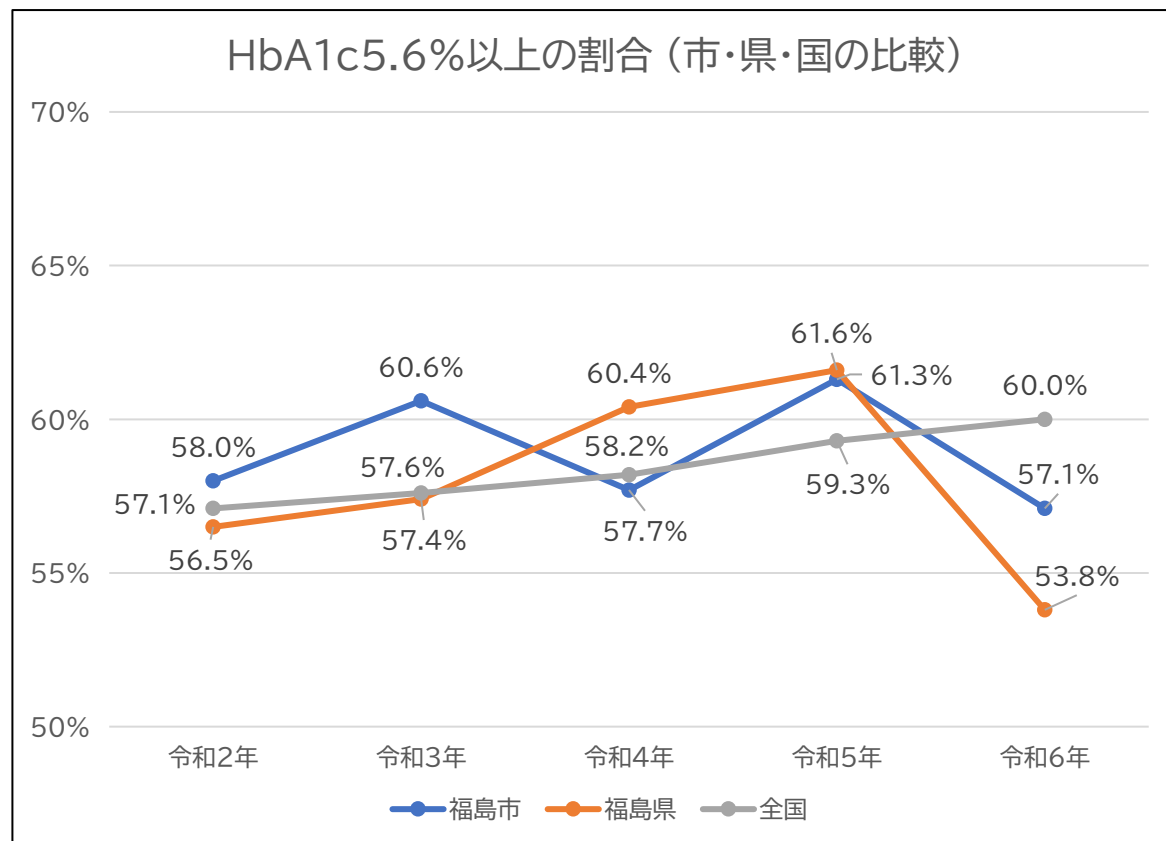
LDLコレステロール 120mg/dl以上



- ・男性は40代の有所見率が最も高く、年代が上がるにつれ有所見率が下がる傾向がある。
- ・女性は40代が最も低く、60代前半でピークとなり、60代後半以降は徐々に下がる。
- ・40代から50代にかけて、女性の有所見率は大きく増加する。

HbA1c 5.6%以上

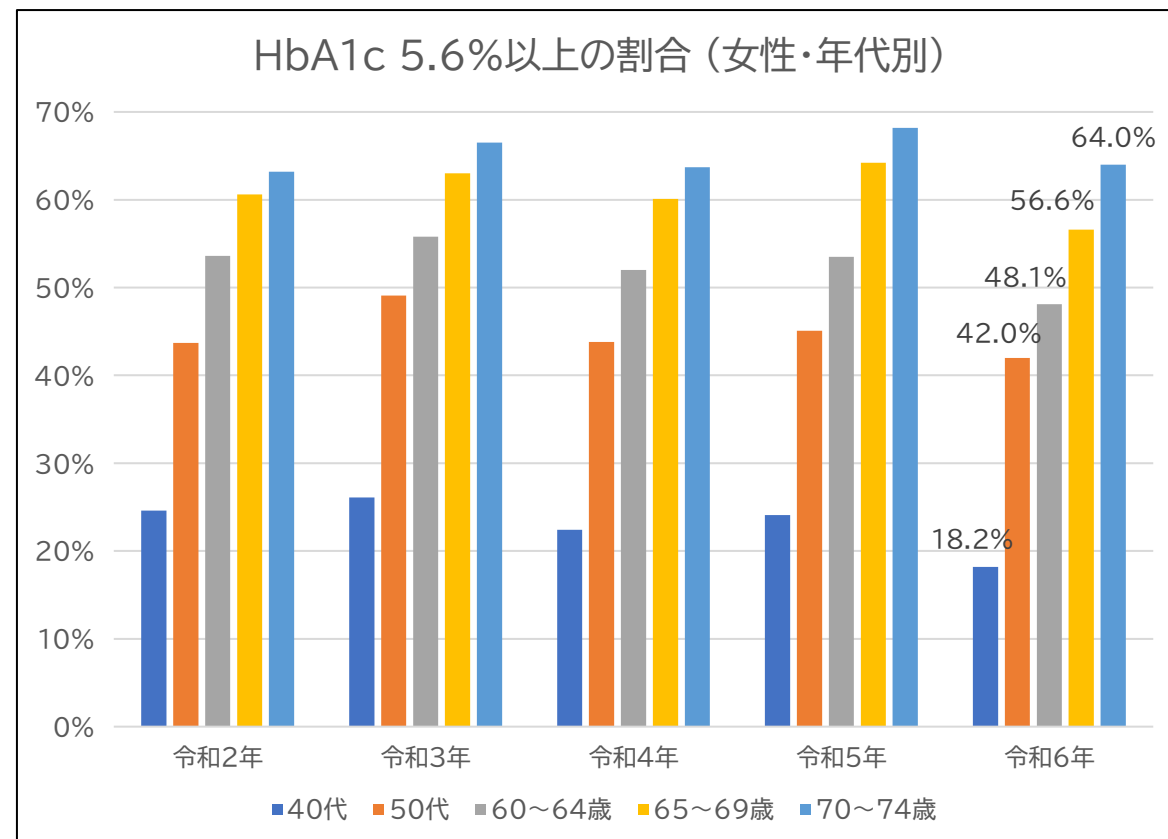
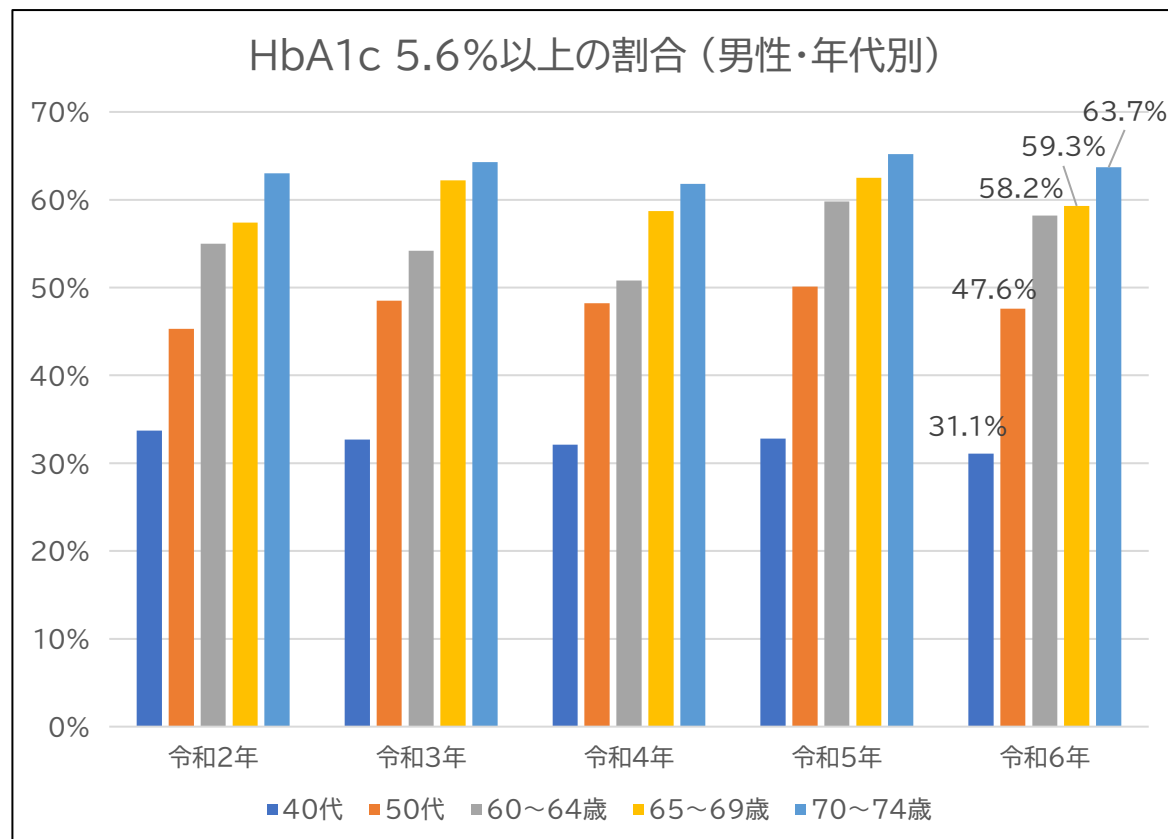
※HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー):糖尿病の指標の一つ。過去1～2ヶ月間の血糖値の平均状態がわかる。



- ・令和5年までは福島市、福島県、全国の有所見率に大きな差は見られなかったが、令和6年は福島県の割合が大幅に低下した。
- ・福島市の令和6年の有所見率は、福島県より高く、全国より低い。
- ・福島市女性の令和6年の有所見率は、令和5年から5.6ポイント低下しており、福島市男性より低い割合となった。

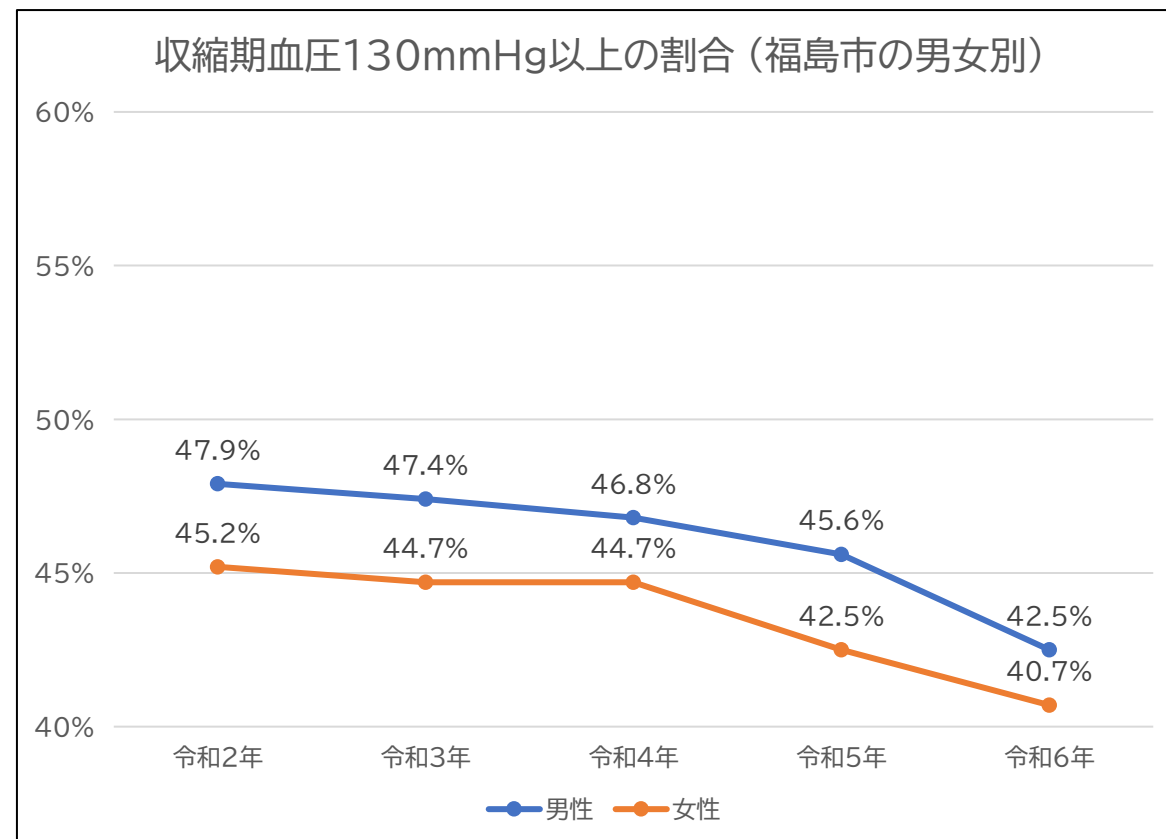
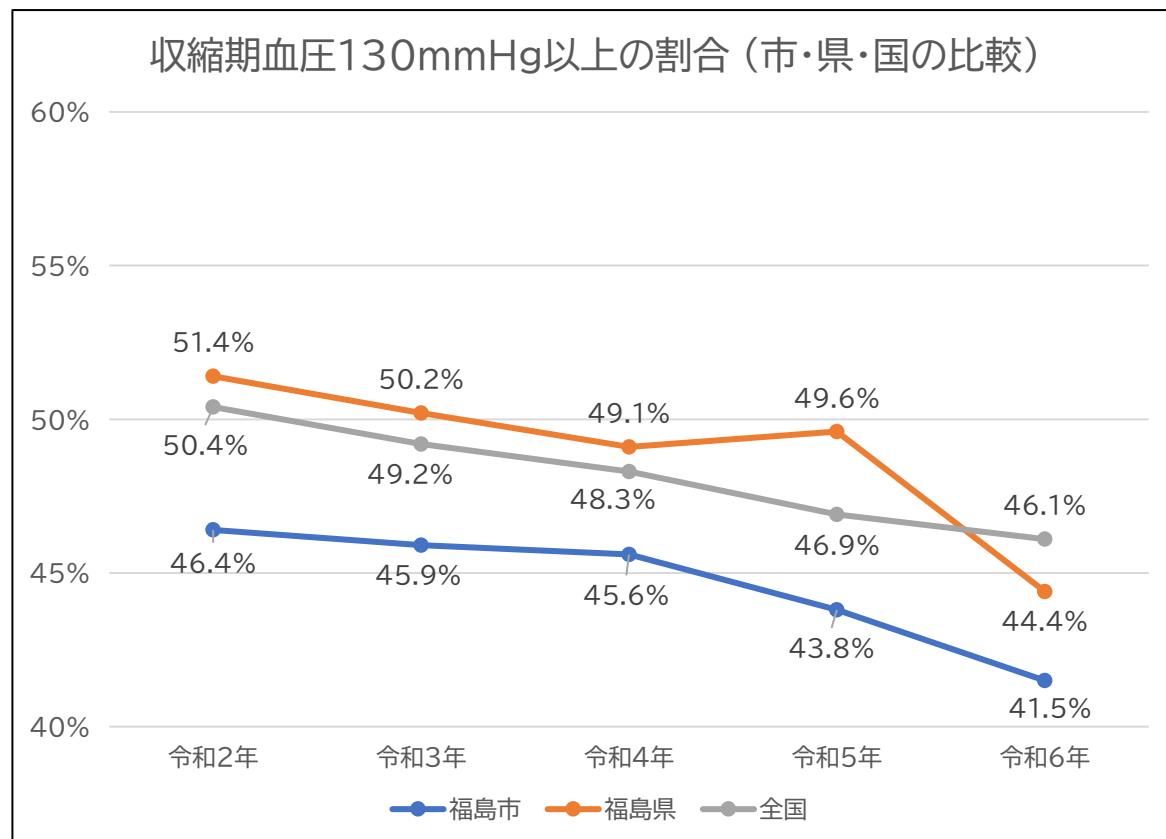
HbA1c 5.6%以上

※HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー):糖尿病の指標の一つ。過去1～2ヶ月間の血糖値の平均状態がわかる。



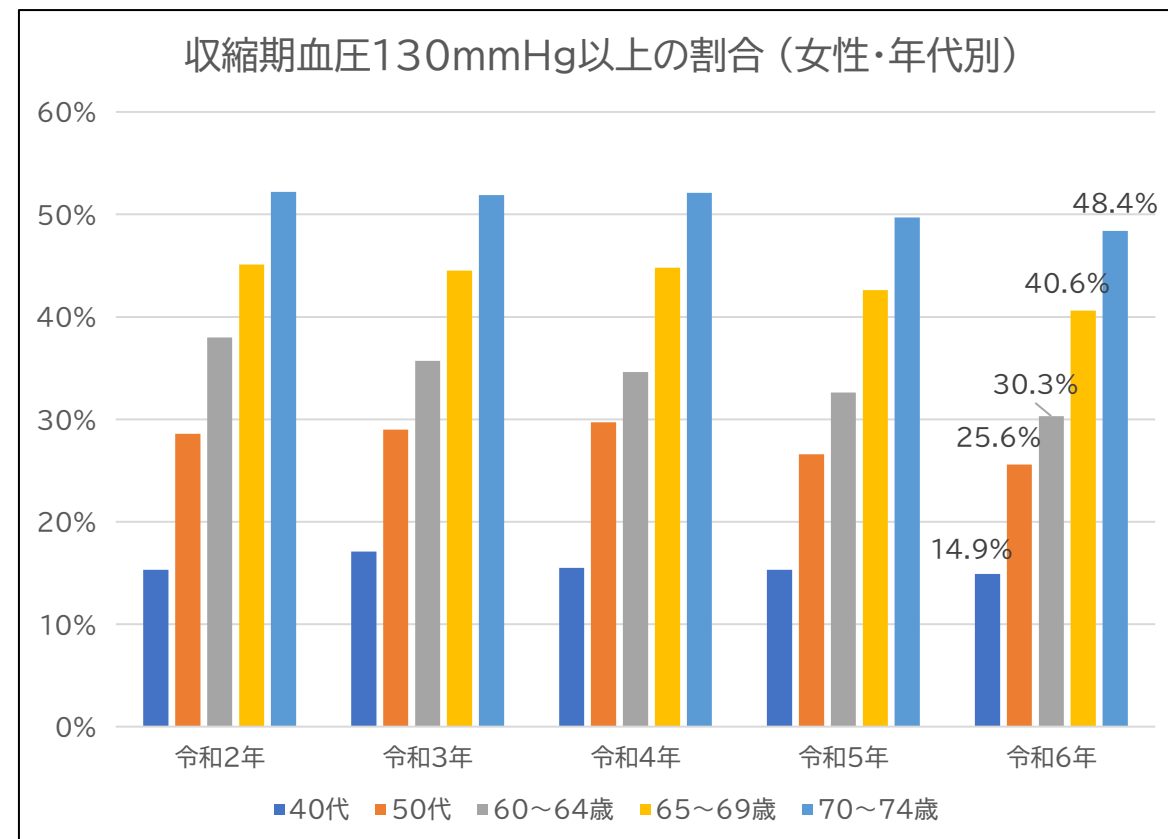
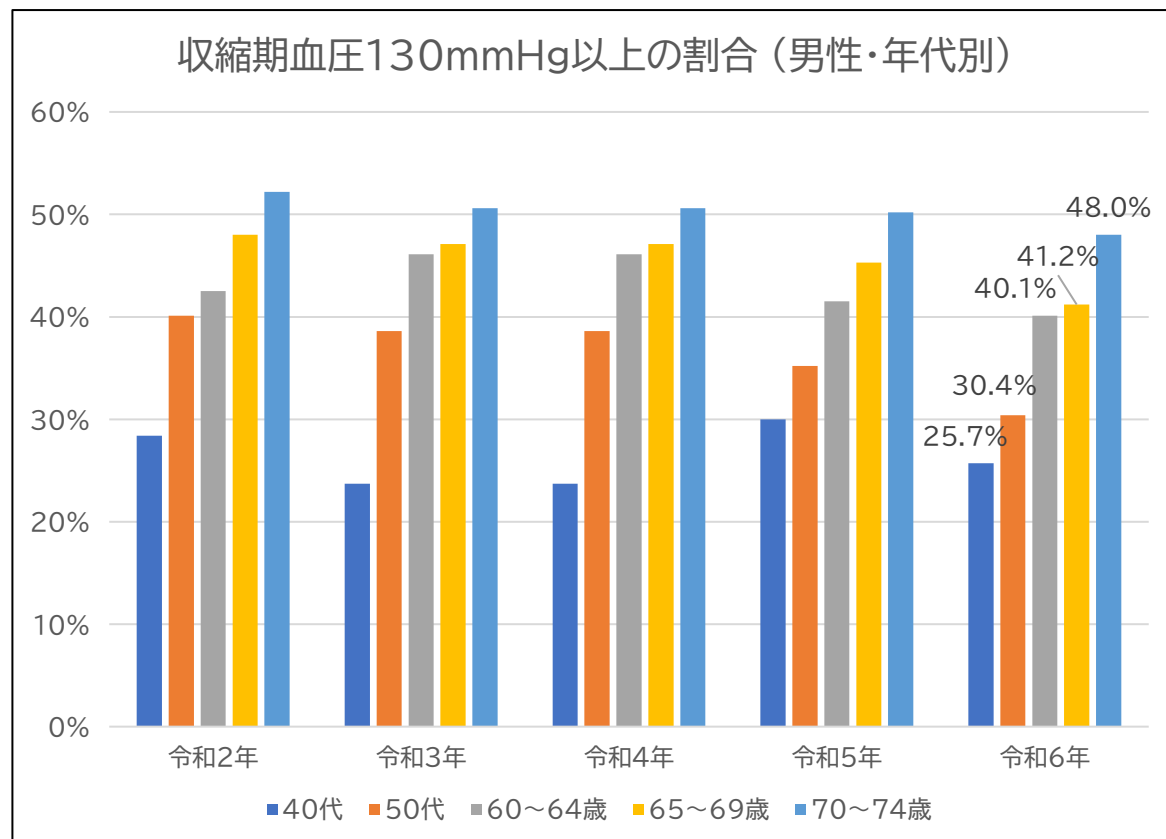
- ・男性女性ともに、年代が上がるにつれ有所見率が増加する傾向にある。
- ・40代において特に男女差が大きく、男性の方が女性より約13ポイント高い割合となっている。
- ・女性は、40代から50代にかけて、有所見率が大幅に増加する傾向にある。

収縮期血圧 130mmHg以上



- ・福島市の有所見率は福島県、全国より低い値で推移しており、直近5年間は減少傾向にある。
- ・福島市の男女差は約2～3ポイントで、わずかに男性が高いが、男女ともに減少している。

収縮期血圧 130mmHg以上



- ・男性女性ともに、年代が上がるにつれ有所見率が増加する傾向にある。
- ・男性女性ともに70代の有所見率は同程度だが、40代～60代前半においては女性より男性が高くなっている。